

令和5年度マイスター・ハイスクール事業 成果発表会 講評シート

学校名(広島県立庄原実業高等学校)

1. 取組についての評価

ビジョンを念入りに設定し、バックキャストして、産学官連携による目標・課題設定をしてカリキュラムを設計している。これらに基づいて設計された「未来志向型PBL学習プログラム」は非常によく設計されており、フィードバック～改善・刷新も行われていることから、他校でも参考になるフレームワークとなりえる有用な事例として大いに評価できる。また、連携先が80件以上にのぼり、産学連携・地域協働ガイドブックを作成するなど産学官連携推進に力を入れていることも評価できる。

2. 今後の課題と考えられること

本拠点の取組はマイスター・ハイスクール事業のモデルケースとなる優良事例として、方法論のフレームワーク化を図って多拠点への参考としていくことも検討できる。また、今後の自立・継続に向けて、一般社団法人の設立を検討していることにも期待したい。地域を丸ごと学び、地域とともにある学校としての位置づけを明確にし、地域と学校をつなげる役割の構築というコンセプトは他の拠点でも参考事例となる。